DENON
取扱説明書

DP-1300M/
DP-500M

DIRECT DRIVE
MANUAL TURNTABLE SYSTEM

ダイレクトドライブ
マニュアル ターンテーブルシステム

DP-1300M

DP-500M

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

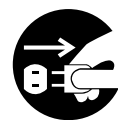
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ **結露とは**
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ **結露が起こる条件は**
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ **結露後の処置は**
結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

設置の際のご注意

■ 放熱のため、壁から10cm以上離して設置してください。

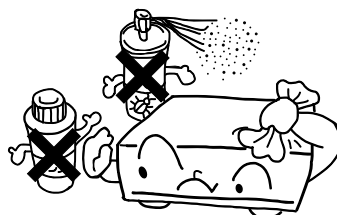
FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMや AM放送の受信音に雑音が入る場合があります。このような場合には、本機をチューナーからできるだけ離してください。

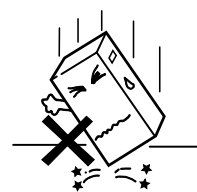
お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

使わないときは

■ **ふだん使わないとき**
◎電源を切ってください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ **移動させるとき**
◎衝撃を与えないでください。

◎必ずレコード盤を取り出し、電源プラグをコンセントから抜いて、接続線を外したことを確認してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

3 本機の特長

1. **高い回転性能の実現**
   高性能、高トルクダイレクトドライブモーター、高密度な光学式パルスエンコーダーによる速度検出、PLLクォーツ制御方式などの採用により高い回転性能を実現しました。
2. **防振に優れたハイブリッド（二重構造）ターンテーブル搭載**
   大型、厚肉アルミダイキャスト製ターンテーブルの裏面に、シリコンラバーシートを全面接着し、振動の内部損失を高めたことにより、ターンテーブルの鳴きエコーを防止しました。
3. **ホログラフィ解析技術により開発されたラバーマット**
   レコード盤がターンテーブルシートの面に充分に密着することが、安定した再生音を得るために必要です。本機のターンテーブルシートの表面には、外周部から内周部にかけて微妙なテーパーを設けてレコード盤の密着性を高めています。
4. **超高純度無酸素銅線6N-OFCコード使用のトーンアーム装備（DP-1300M）**
   DP-1300Mには高導電率の無酸素銅線6N-OFCコードを採用しました。
5. **優美な仕上げの木製キャビネット**
   素材、仕上げともに最新の技術を導入した大型木製キャビネットとハウリング特性と優美さを両立させたダンピングラバーとコニカルスプリングの組み合わせからなる大型インシュレーターを採用しました。

4 付属品について

★ 梱包箱の中には、本体とは別に下記の付属品が入っています。
ご使用の前にご確認ください。

DP-1300M
① 取扱説明書（本書） ……………………1
② サービス網一覧表 ……………………1
③ 保証書 ……………………1
④ ターンテーブル ……………………1
⑤ ターンテーブルシート ……………………1
⑥ カウンターウエイト ……………………1
⑦ 45回転レコード用アダプター ……………………1
⑧ ヘッドシェル ……………………1
⑨ カートリッジスペーサー ……………………2
⑩ 電源コード ……………………1
⑪ ダストカバー ……………………1
⑫ オーディオコード ……………………1

DP-500M
① 取扱説明書（本書） ……………………1
② サービス網一覧表 ……………………1
③ 保証書 ……………………1
④ ターンテーブル ……………………1
⑤ ターンテーブルシート ……………………1
⑥ カウンターウエイト ……………………1
⑦ 45回転レコード用アダプター ……………………1
⑧ カートリッジ付ヘッドシェル ……………………1
⑨ ダストカバー ……………………1
⑩ オーディオコード ……………………1
⑪ ヒンジ ……………………2

5 各部の名前とはたらき

1 **電源ボタン（▀ OFF、▄ ON）**
- 電源をONにすると、スピード切り替えボタンの橙色LEDが点灯します。

2 **スピード切り替えボタン（33：橙色LED点灯、45：緑色LED点灯）**
- 演奏するレコード盤の回転数に合わせて切り替えます。
  33 1/3回転レコード盤……『33』
  45　　回転レコード盤……『45』

3 **スタート/ストップボタン（START/STOP）**
- このボタンを押すことにより、ターンテーブルが回転したり停止したりします。

4 **ロックナット**
- ヘッドシェルを取り付けるときに使用します。

5 **トーンアーム**

6 **アームレスト**
- トーンアームの支持台です。

7 **リフターレバー**
- トーンアームを上下させるときに使用します。

8 **アンチスケーティングつまみ（ANTI.SKATING）**
- レコード演奏時、針先が内周へ引っぱられる力が発生しますが、このつまみを針圧と同じ数値に合わせることで、その力を打ち消します。

9 **針圧調整リング**
- 針圧を調整するときに使用します。

10 **カウンターウエイト**
- トーンアームのバランスをとったり、針圧を調整するときに使用します。

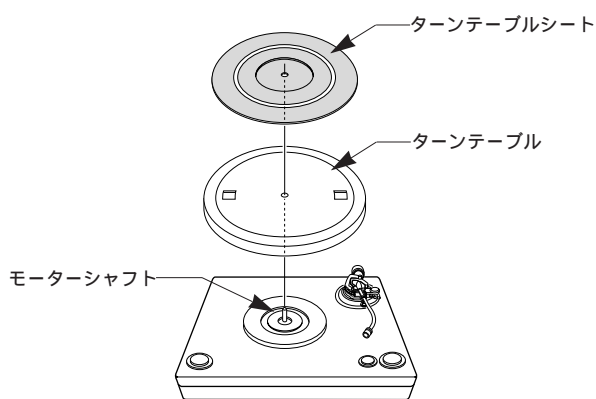
11 **ダストカバー**
- ほこり、ちりなどから大切なレコードを守るカバーです。プレーヤーを使用しないときは、ダストカバーを閉じてください。

12 **アーム高さ調整リング（DP-1300M）**
- トーンアームの高さを調整する時に使用します。

13 **アーム高さ固定ノブ（DP-1300M）**
- アーム高さ調整後に高さを固定する時に使用します。

6 組み立てかた

★ 組み立てが完了するまで、電源コードは接続しないでください。

(1) ターンテーブルの取り付け

1 **梱包箱の中から、すべての包みを取り出します。**

2 **本体および部品を包んでいる梱包材を取り除きます。**
- 梱包材を取り除くときは、床やテーブルなどに置いて安定させた状態で丁寧におこなってください。乱暴におこないますと、傷や変形の原因となります。

3 **ターンテーブルをモーターシャフトに差し込みます。**
- ターンテーブル裏面のマグネットリングに傷をつけないように注意してください。

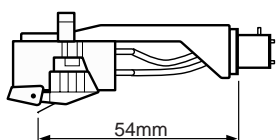
4 **ターンテーブルシートをモーターシャフトに合わせてのせてください。**

(2) カウンターウエイトの取り付け

1 **トーンアームの後部軸にカウンターウエイトを取り付けます。**

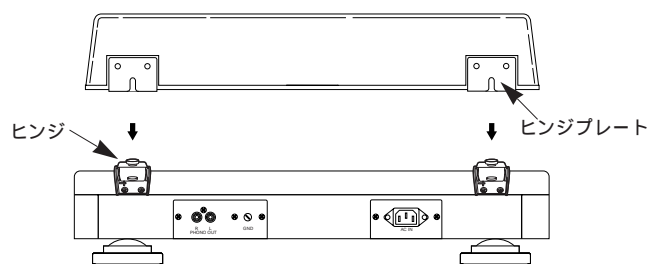
(3) カートリッジの取り付け

★ DP-1300Mのカートリッジは別売りです。

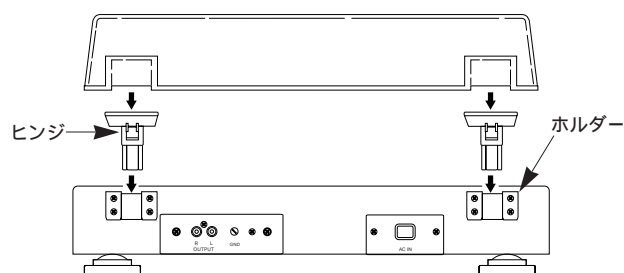
1 **ご使用されるカートリッジをヘッドシェルに取り付けます。**
- ヘッドシェル部のリード線は色分けされていますので、カートリッジの表示またはカートリッジの取扱説明書を参照して、それぞれ対応するカートリッジの端子にピンセットなどを使用してしっかりと接続してください。
- 下図のように、ヘッドシェル取り付け端面（ゴムワッシャー部）より54mmの位置に針先がくるように取り付けると、所定のオーバーハングが得られます。

2 **カートリッジを取り付けたヘッドシェルをトーンアームに差し込み、ロックナットで固定します。**

★ DP-500Mは、ヘッドシェルにカートリッジが取り付いた状態で付属しています。

(4) ダストカバーの取り付け

DP-1300M

1 **ダストカバーのヒンジプレートをヒンジの突起に合わせ、矢印の方向に十分押し込んでください。**
- ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーをいっぱいに開け、矢印と反対方向に引き抜いてください。

※ ダストカバーの取り付け・取り外しの際は、ヒンジの近くを持つようにしてください。

DP-500M

1 **付属のヒンジ2個をキャビネット後部のホルダーにしっかりと差し込んでください。**

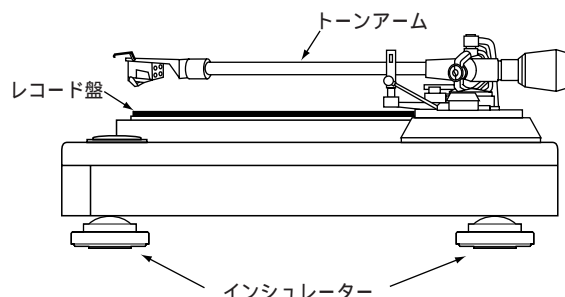
2 **ダストカバーの角穴をヒンジに合わせ、矢印の方向に十分押し込んでください。**
- ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーをいっぱいに開け、矢印と反対方向に引き抜いてください。

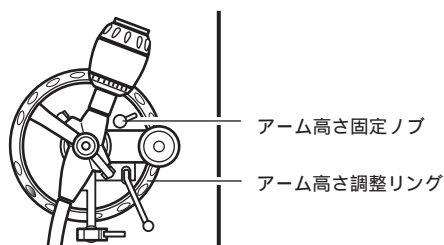
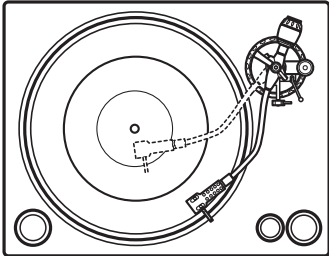
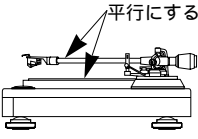
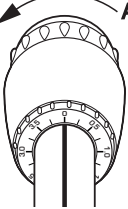
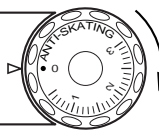
※ ダストカバーの取り付け・取り外しの際は、ヒンジの近くを持つようにしてください。

7 調整のしかた

★ 調整をおこなうときは、電源を切ってください。

(1) インシュレーターの高さの調整

1	インシュレーターを回して、ターンテーブル面が平行になるようにそれぞれの高さを調整する。 ※ インシュレーターを右に回すと低くなり、左に回すと高くなります。

(2) トーンアームの高さの調整 (DP-1300M)

1	レコード盤上に針先を置き、レコード面とトーンアームがほぼ平行になっているかを確認します。
2	平行になっていない場合は、 ①トーンアームをアームレストに戻します。 ②アーム高さ固定ノブを反時計方向に動かして、固定をはずします。 ③アーム高さ調整リングを回転させて、レコード面とトーンアームがほぼ水平になるようにアームの高さを調整します。(調整後は、アーム高さ固定ノブを時計方向に動かして、しっかりと締めつけてください。)

（3）針圧・アンチスケーティングの調整

1 **アンチスケーティングつまみを『0』目盛に合わせてください。**

2 **リフターレバーを下げて、トーンアームを移動します。**
- トーンアームをアームレストから外し、ターンテーブルの上まで移動させます。

※トーンアームを移動させるときは、カートリッジ針カバーをおろして針先が直接ターンテーブルなどに触れないように注意してください。
※針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外して調整してください。

3 **水平バランスをとります。**

平行にする

- カウンターウエイトを前後させ、手を離したとき、トーンアームがターンテーブル面と平行になるようにします。

※水平バランスを調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルシートや本体に触れないようにご注意ください。

4 **トーンアームをアームレストに戻します。**
- トーンアームをアームレストに戻してください。

5 **カウンターウエイトが動かないように指で支えながら針圧調整リングを回し、数字『0』をトーンアーム後部軸の黒い中心線に合わせます。**

6 **カウンターウエイトを矢印Aの方向に回し、ご使用のカートリッジの適正針圧値に合わせます。**

※カウンターウエイトを回すと針圧調整リングも一緒に回りますので、調整リングを読みながら適正な針圧に調整してください。
※カートリッジの適正針圧値は、お使いになるカートリッジの取扱説明書をご覧になり、合わせてください。
※DP-500M付属カートリッジの適正針圧は2.0gです。2.0に合わせてください。

7 **アンチスケーティングつまみを回し、基準線にカートリッジの針圧と同じ数値を合わせてください。**
針圧3.0g以上のカートリッジをご使用の場合は、“3”に合わせてください。

ANTI-SKATING

- 適正なアンチスケーティング量が得られます。

- 質量の重いカートリッジをご使用になる場合は、別売りの重量級カートリッジ用ウエイト「ACD-45-N」をご指定ください。

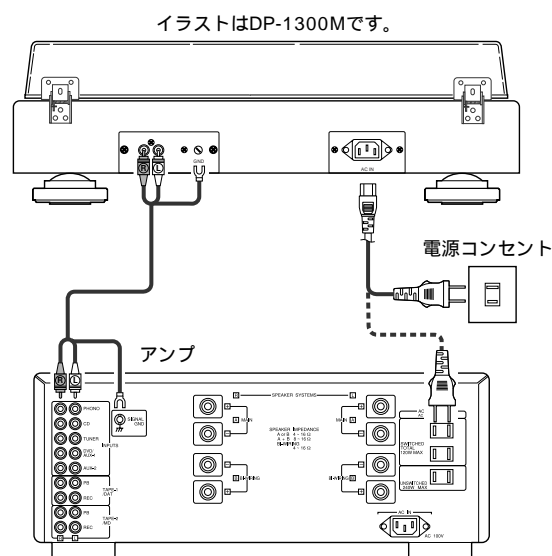
8 接続のしかた

★ 必ず本機およびご使用になるアンプの電源を切った状態にしてください。

1 **付属の出力コードを使用して、リアパネルの出力端子L（白色）・R（赤色）とご使用になるアンプの『PHONO』入力端子L・Rをそれぞれ接続します。**

2 **アース線（出力コードと一緒になっている）をアンプのGND端子（アース端子）へ接続します。**

3 **電源コードをAC 100Vの電源コンセントへ差し込みます。**
- ご使用のアンプなどに電源コンセントがある場合は、そこに差し込みます。このときアンプなどの取扱説明書を参照し、電源コンセントの電力容量が十分あることを確認してください。

イラストはDP-1300Mです。

9 操作のしかた

(1) 電源の入れかた

1	**電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源をONにします。** ● スピード切り替えボタンのLEDが点灯します。

ご注意

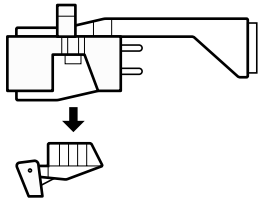
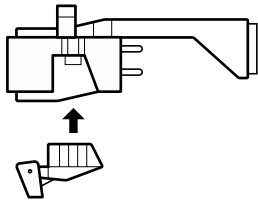
● 長時間使用しないときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

(2) 演奏のしかた

1 演奏を開始するとき

1	**本機の電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源ボタンをONにします。**
2	**アンプの電源を入れ、入力を『PHONO』にします。**
3	**ターンテーブルにレコード盤をセットします。** ※ドーナツ盤を演奏するときは、付属のアダプターをご使用ください。
4	**スピード切り換えボタンを押して、レコード盤に合わせた回転数を選択します。**
5	**スタート/ストップボタンを押します。** ● 操作4で選択した回転数で回り始めます。
6	**リフターレバーを上げてヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームをレコード盤の演奏位置まで移動させます。**
7	**リフターレバーを下げます。** ● トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤上におりて演奏を開始します。

2 演奏を終了させるとき、および途中で中止させるとき

1	**リフターレバーを静かに上げます。** ● トーンアームが上昇し、針先がレコード盤から離れます。
2	**ヘッドシェルの指かけを持って、トーンアームをアームレストまで戻します。**
3	**トーンアームをアームレストに固定します。**
4	**スタート/ストップボタンを押します。** ● ターンテーブルの回転が止まります。

ご注意

● レコード演奏中は、振動および衝撃を与えないでください。
● レコードを交換するときは、ターンテーブルが止まってからおこなってください。
● レコード盤に針をのせるときと針を離すときは、アンプのボリュームを絞ってからおこなってください。

10 保守について

針交換のしかた（DP-500Mのみ）

★ 交換針は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にて、DP-500M専用交換針『DSN-83』をご指定の上、お求めください。

1	本機の電源スイッチをOFFにします。
2	古い針を矢印の方向に引き抜きます。
3	新しい針を矢印の方向に差し込みます。

針先の清掃

針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。

針の寿命

針の寿命は500時間くらいとされていますが、使用状態などで大幅にかわります。針先が摩耗してくると高音が荒い感じになり、歪みが増し、またレコード盤を傷める原因となります。そうした場合には、速やかに針を交換してください。

注油について

本機のモータは注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。

11 保証とサービスについて

1. この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3. 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4. 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

6. 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

12 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ 各接続は正しいですか

■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
針先がレコード盤におりない。	● トーンアームの高さは正しく調整されていますか。（DP-1300Mのみ） ● 針圧は正しく調整されていますか。 ● アームの水平バランスがとれていますか。	10 11 11
音が出ない。	● カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか。 ● 出力コードが正しくアンプに接続されていますか。 ● アンプのつまみ類の調節、切り替えは正しいですか。	9 11 ー
“ ブーン ” というハム音が出る。	● 出力コードのアース線をアンプに接続しましたか。 ● 出力コードのプラグは確実に接続されていますか。 ● ヘッドシェルはロックナットでしっかり固定されていますか。	11 ー 9
針とびを起こす。	● 針圧が適正針圧になっていますか。 ● レコード盤がそったり、傷が付いたりしていませんか。 ● 針先にホコリが多量に付いていませんか。	11 ー ー
アームが途中で進まない。	● レコード盤に傷が付いていませんか。 ● アームが何かに当たっていませんか。	ー ー
音が小さい。または、大きい。	● カートリッジの種類（MC/MM）に適したアンプの接続切り替えになっていますか。	ー

13 主な仕様

■ ターンテーブル部

駆動方式	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数	33 1/3rpm、45rpm
ワウ・フラッター	0.1%以下　wrms
S/N比	70dB以上
起動時間	0.3秒以内で規定回転（33 rpm時）
ターンテーブル	アルミダイカスト　直径：331mm
モーター	ダイレクトドライブモーター
スピード制御方式	クォーツ制御
負荷特性	針圧80gで0%
回転数偏差	±0.003%以内

■ トーンアーム部

アーム形式	スタテックバランス　S字型アームパイプ
有効長	DP-1300M:　244mm DP-500M:　230mm
オーバーハング	DP-1300M:　14mm DP-500M:　15mm
トラッキングエラー	3°以内
アーム高さ調整範囲	約6mm（DP-1300Mのみ）
針圧可変範囲	0〜4.0g（1目盛　0.25g）
適合カートリッジ自重	14.0〜20.0g（ヘッドシェルを含む）

■ カートリッジ部　（DP-500Mのみ）

形式	MM型
出力電圧	4.8mV±3dB（1kHz）
針圧	2.0±0.5g
交換針	DSN-83
カートリッジ質量	5.8g
付属ヘッドシェル質量	9.0g（DP-1300M/500M共通）

■ 総合

電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	10W（電気用品安全法による）
寸法	DP-1300M: 490（幅）×178（高さ）×400（奥行き）mm（フットを含む） DP-500M: 450（幅）×170（高さ）×370（奥行き）mm（フットを含む）
質量	DP-1300M:　約13.6kg DP-500M:　約10.1kg

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　社　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 4056 408